



自然

虹色の光

Message To 21

1998 光市 市勢要覧

継承さらに飛躍



光市長 末岡 泰義

光市は昭和18年4月1日に市制を施行して以来今日まで、恵まれた自然環境を生かしながら、周南工業整備特別地域の一翼を担う近代的産業都市として発展を続けてまいりました。これもひとえに、市民の皆様をはじめ市内事業関係者のご努力また、市政に対するご理解ご協力のたまものであり、深く感謝申し上げます。

世紀末を迎え、今まさに激動の時代。戦後半世紀の間、我が国を支えてきたありとあらゆるシステムが変革を求められてきており、光市におきましても、国際化や少子・高齢化、情報化の急速な進展をはじめ、環境保全意識の高まりや男女共生社会の形成、行政改革や地方分権の推進など、様々な課題に向けた対応が必要となっています。

このたび、今世紀最後となります市勢要覧の発刊にあたり、現在の市政の紹介を通して、私たち光市民がこの時代に、何を大切にし、何を守り育て、そして、次代に引き継ぐ努力を行ってきたのか、そのことを後世の人々に伝えるメッセージにしたいと思います。

平成10年4月

On April 1 1943, Hikari was granted municipal status as a city.

Since that time Hikari City continues to develop as a modern industrial city included in the Shunan industrial area. We owe the city's growth to the efforts of industrial enterprises, and to the cooperation and understanding of the citizens toward the municipal administration.

These are turbulent times. Every economic and social system is required to change, despite the fact that the current systems have been supporting the growth of Japan for the half century after World War II. In Hikari City, it is necessary to cope with various problems such as the rapid advance of an aging, internationalized and information-oriented society; the uplifting of a spirit of environmental conservation; the formation of a society in which men and women are equal in all aspects of living; and the realization of administrative reform and political power decentralization.

Through this City Guide, the last to be published in this century, we introduce Hikari City as it really is and present what the citizens of Hikari City have been doing during this century to conserve the city's beautiful and important "treasures", which should be handed down to future generations.

光市民憲章 昭和48年11月3日制定

わたくしたちのまち光市は

ゆたかな自然環境に恵まれ 新しいいぶきにみちた希望のまちです。

わたくしたち光市民は

ふるさとの風土と歴史をうけつぎ 連帯と調和の精神をもって

名のごとく光あふれる理想のまちとするために この市民憲章をさだめます。

わたくしたちは

誇りと責任をもって とともに その実践に努めます。

わたくしたち光市民は

1、うつくしい自然を愛し 花と緑のまちをつくりましょう

1、のびゆく力を育て スポーツと文化のまちをつくりましょう

1、あたたかく互いに助け合い しあわせなまちをつくりましょう

1、たのしく働き 物を大切にし 豊かなまちをつくりましょう

1、すすんでまわりを守り 人をとうとび 明るいまちをつくりましょう

C O N T E N T S

21世紀に残したい光の風景 HIKARI COLLECTION	2
人も 街も 自然も ひかり輝くまち	6
人が輝く	8
街が輝く	12
自然が輝く	16
市政・議会	20
光市のすがた	21

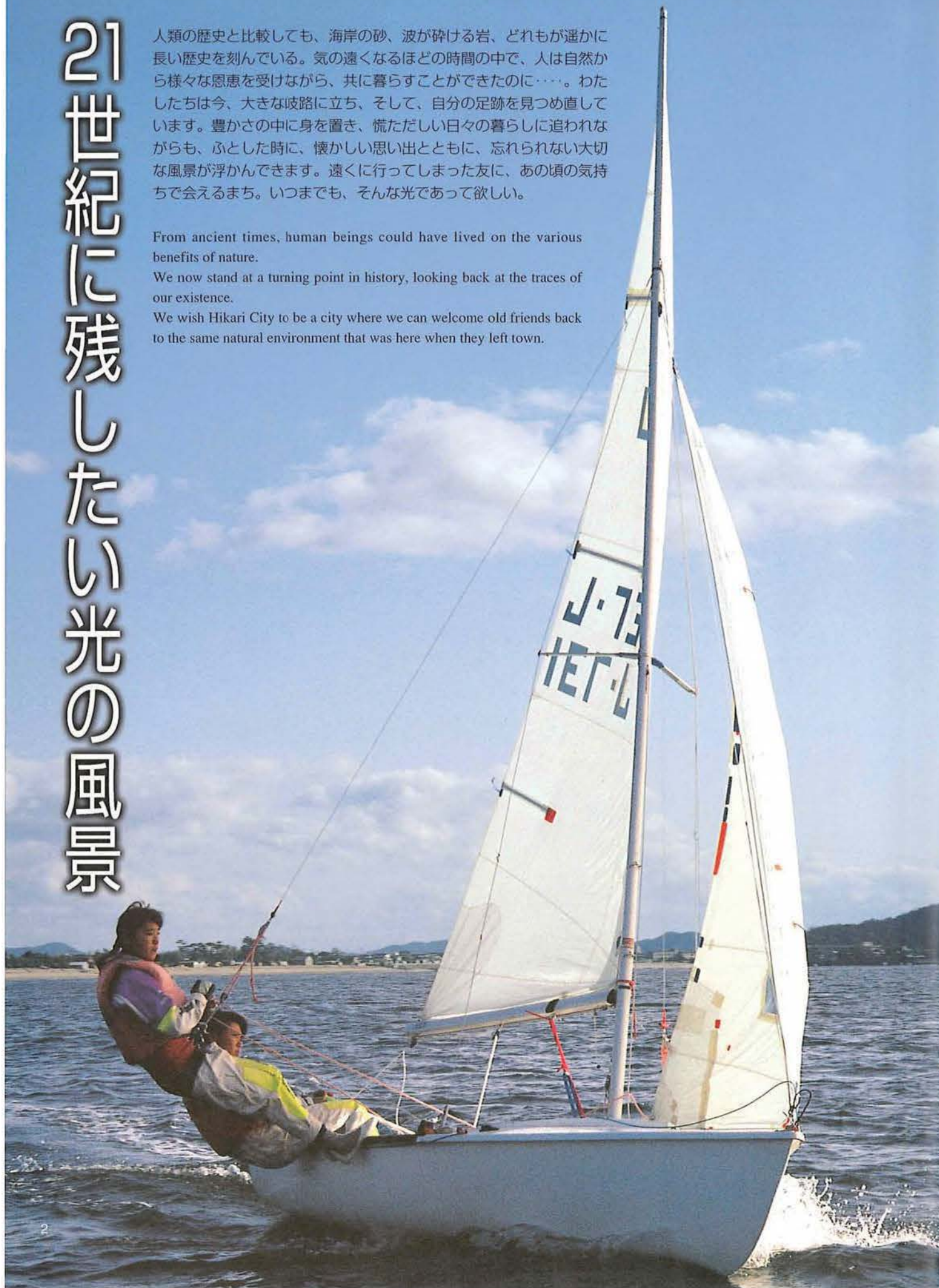
21世紀に残したい光の風景

人類の歴史と比較しても、海岸の砂、波が砕ける岩、どれもが遥かに長い歴史を刻んでいる。気の遠くなるほどの時間の中で、人は自然から様々な恩恵を受けながら、共に暮らすことができたのに……。わたしたちは今、大きな岐路に立ち、そして、自分の足跡を見つめ直しています。豊かさの中に身を置き、慌ただしい日々の暮らしに追われながらも、ふとした時に、懐かしい思い出とともに、忘れられない大切な風景が浮かんできます。遠くに行ってしまった友に、あの頃の気持ちで会えるまち。いつまでも、そんな光であって欲しい。

From ancient times, human beings could have lived on the various benefits of nature.

We now stand at a turning point in history, looking back at the traces of our existence.

We wish Hikari City to be a city where we can welcome old friends back to the same natural environment that was here when they left town.



春
Spring

Season

四季
HIKARI COLLECTION

夏
Summer



島田川の桜：薄紅色の桜、菜の花の黄色、そして島田川清流の青。市街地であって、見事な美の調和を見せてくれます。



虹ヶ浜海岸：白い砂、青い海、豊かな松林。名のごとく虹のように美しい海岸は、市民共有の財産。まさに光市の至宝です。



クサフグの産卵：初夏、峨嵋山の南岸の磯は毎年クサフグの産卵場となり、県の天然記念物に指定されています。

秋
Autumn



向山文庫の紅葉：清水家老職だった難波家が幕末に私財を投じて塾を設立。明治16年に蔵書を公開したのが向山文庫で、秋には見事な紅葉に包まれ、訪れる人の目を楽しませてくれます。

冬
Winter



島田川の水鳥：一年を通じ約70種の水鳥たちが憩う島田川。毎年、冬から春にかけては、数千羽のウミネコやユリカモメなどが飛来しています。

冠梅園：2～3月、瀬戸内海が見渡せる小高い丘は、約2000本の紅白の梅の花でうめつくされ、市民に親しまれています。

山街島

Mountain
Town
Island



潮音寺山



牛島の石積防波堤



国道188号(虹ヶ浜)



田園風景



海商通り

海松川

Sea
Pine Tree
River



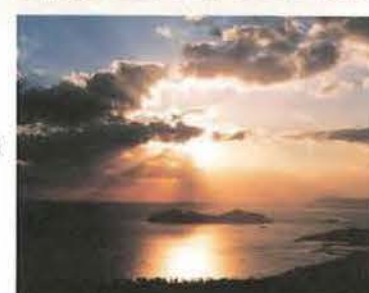
室積海岸



御手洗湾と峨嵋山



伊保木海岸



コバルトラインから見た夕日



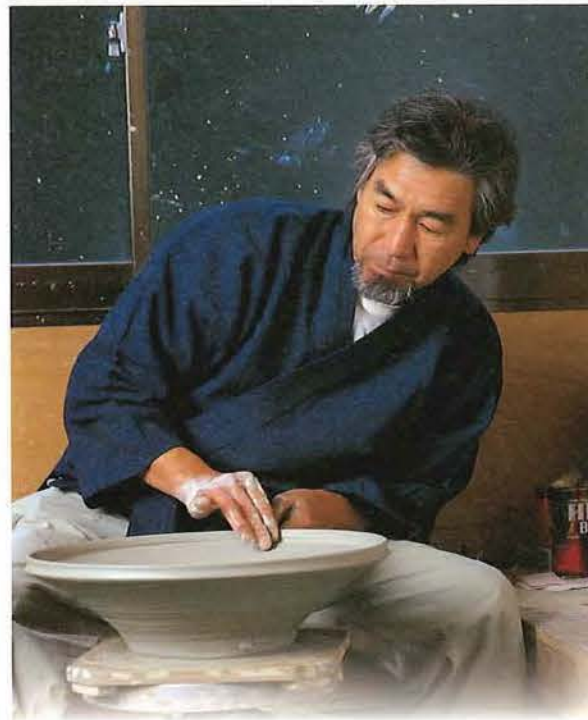
島田川での水遊び



虹ヶ浜海岸

人も街も自然もひかり輝くまち

HIKARI 21 Leading Project

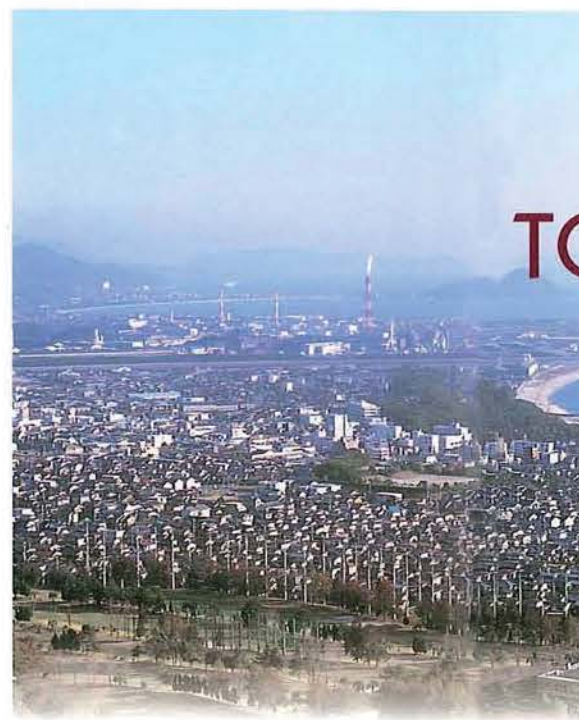


P
PEOPLE

人が輝く

[人材育成・文化・福祉]

- 「のびのび学習推進計画」
- 「いきいきゴールドプラン」
- 「すくすくエンゼルプラン」
- 「人材ネットワーク計画」



T
TOWN

街が輝く

[都市基盤・産業・歴史を伝える街並み]

- 「経済活性化プラン」
- 「道路交通網整備プラン」
- 「アメニティライフ計画」
- 「スポーツ・レジャー拠点整備計画」
- 「ひかり情報発信プラン」



N
NATURE

自然が輝く

[至宝・環境保全・市民参加]

- 「水と緑のふるさと計画」
- 「海と川のクリーン計画」
- 「島田川ユートピア計画」
- 「エコミュージアム計画」

光市では、昭和63年3月に策定した「第三次光市総合計画」の基本計画に基づき、『人間性豊かな活力ある快適環境都市』の実現に向けて、これまでに各種施策に積極的に取り組み、着実な成果を上げてきました。

21世紀を間近に控えた今日、光市を取り巻く環境は大きく変化し、また、市民のニーズも多様化・高度化・複雑化してきています。

こうしたことから、平成8年3月に策定いたしました「後期基本計画」

では、様々な諸情勢に的確に対応しつつ、市政運営の基本的な指針であります「光市の有位性を生かした個性あるまちづくり」「市民参加による心の通ったまちづくり」「効率的な行政運営の推進」を踏まえ、基本構想に掲げる将来像を実現するため、平成12年(西暦2000年)を目標年次に各種施策を総合的・体系的にまとめています。

現在、この計画に基づき「人も 街も 自然も ひかり輝くまち」の創造を目標に、全力を尽くしています。

According to "The Third Hikari City General Plan" of March 1988, we have engaged in various policies to provide a comfortable, easily accessible and modern city full of vitality and humanity, and consequently have achieved a steadily increasing realization of this goal. In recent years, with the 21st century close at hand, the social environment surrounding Hikari City has changed. Citizens needs for better living have become more varied, diversified and complicated.

Under such circumstances, in March 1996 we made "The Letter-Term Basic Plan" to realize the future image of the city in line with the three major concepts for managing our city; "making a unique town using Hikari City's original advantages", "managing a city through participation of the citizens", and "efficient management of administration".

We will make a great effort to realize a splendid city where the citizens and the streets are lively and nature-filled.

Message to 21

これからも豊かな「田舎」であってほしい。



建築設計
木村則夫さん(41)

室積海商通りにクラフトショップを構え、そこを拠点に住宅や商業施設の設計デザインに携わっています。

光市には豊かな自然がごく当たり前のようであって、その自然に培われた感性の豊かな人々がいて、ほどよい街のスケールだから、そういったものにすぐに出逢えるのが最高の魅力です。

未来のために今何をすべきかを広い視野で見つめ、農業や漁業といった心を豊かにしてくれる産業に目をむけていくべきだと思います。これからも豊かな「田舎」であり続けてほしいですね。

なんだかホッとする街ですね。



幼稚園教諭
岡真実子さん(23)

幼稚園教諭をしています。子供たちと一緒に遊んだり、考えたり、おいしくご飯を食べたり...そんな毎日です。

とにかく自然がたくさんあって、海でも山でも行きたいと思ったりすぐに行くことができる光市は、なんだかホッとする街です。決して都会ではないけれど、田舎には田舎のそういうんびりとした良さがあると感じるので、その良さを損なわずにいてほしいです。

私もマイペースで充実した人生を送っていきたいと思います。いつまでも住みよい街、光市であってほしいですね。

光産の安全でおいしい牛乳を作っています。



酪農・乳処理販売業
前田吉昭さん(35)

乳牛を飼育し、プラントを持って低温殺菌によるノンホモ牛乳を各家庭に配達しています。光市はやはり、少しのんびりめで自然が多い所がいいですね。ですから都市化はあまり進んでほしくありません。都会を真似た街づくりをするのでなく、光の良さを生かした独自の施策を進めてほしいと思います。美しい自然を売り物にした、各地から人が集まれるような街というのが光市らしい気がします。

私も光産の安全でおいしいノンホモ牛乳を多くの市民に知ってもらおうと同時に実際飲んでもらえるよう努力していきます。

高齢者、障害者が笑って過ごせる街に。



ピアニスト
儀村靖幸さん(20)

県内各地の各種学校、福祉施設、女性セミナーなどでピアノのコンサートをしています。毎年、虹ヶ浜海水浴場に10回くらいは泳ぎに行きますが、光の海はとにかく水がきれいなんです。(目が見えなくても、きれいな水だということは体全体で感じることができます)

いつかオーケストラと一緒にコンサートをするのが夢です。光市に音楽好きな若者が気軽に利用できる本格的な音響設備のあるコンサートホールができればうれしいですね。

高齢者、障害者が毎日笑って過ごせるそんな街になってほしいと思います。



PEOPLE

【人材育成・福祉・文化】

一人ひとりがまちの主人公

21世紀にたくましく羽ばたく子どもたち

その笑顔は無限の可能性に輝き、夢と希望に溢れている。

笑顔はまちに元気を与え、明日の飛躍へのエネルギーとなる。

赤ちゃんからお年寄りまで、みんな生き生きと輝いて欲しい。

光市は“人が輝くまち”の創造をめざします。

PRISMATIC CITY 人 HIKARI

【人材育成】

まちづくりの中心は人

人が輝いてこそ、まちに活力が生まれます。いつの時代も、まちづくりの中心は人。文化を育み、芸術を愛し、スポーツを楽しむ、そんな人々の学習意欲に応えたい。

光市は、学校教育から生涯学習まで幅広くサポートしています。そして、明日の光市を支える人材の育成に努めます。

The city's vitality is brought out in the citizens liveliness. At any time it is the people who make a city's growth.

We want to address the various needs of the people who love culture, arts, and sports.

We will assist people with school education and their lifelong education to bring up talented people who will support the growth of the city in the future.



国際交流のついで：楽しく過ごすうちに心と心が通じ合う。心がふれあってこそ理解は深まります。



パソコン授業：中学校では、一人に一台のパソコンを整備。



周南コンピュータ・カレッジ：情報化社会に対応した有能な技術者を育成します。



陶芸教室：小学校の余裕教室が生涯学習の場として生まれ変わりました。



教育キャンプ：子どもたちは、野外活動体験を通して、自然の大切さや生きる知恵を学びます。



少年少女セミナー：首段は入ることのない山野を探検。自然とふれあい自然を愛する心を育みます。



周防の森ロッジ：四季を通じて自然にふれあえる野外活動センター。自然の中で新たな自分を発見できるかも。

[福祉]

みんな安心健やかに

少子・高齢化社会に向けて、すべての人々がともに暮らせるまち。ノーマライゼーションの実現と、バリアフリーのまちづくりをめざして光市は今、高度な福祉・保健・医療サービスの充実に力を入れています。

子どもたちも、お年寄りも、障害のある人もみんなが安心して健やかに暮らせたら…。そんな光市を実現します。

A city where people of all ages can live together happily in an increasingly aging society.

We will make efforts to improve the welfare, health and medical treatment services for social normalization and a barrier free society. We wish to develop a city where all people, especially children, the elderly and the handicapped, can live without anxiety.



身障者スポーツ大会：障害のある人もない人も一緒にスポーツを楽しみます。



シルバー人材センター：自分のために、そして社会のために、まだまだ楽しみながら働けますよ。



老人ホーム：光寿苑のデイサービス。楽しい企画に思わず笑顔がこぼれます。



お年寄りと園児の交流会：子どもたちはおいしいやんおばあちゃんが大好き。



おっぱい祭り：「母と子と父そして人にやさしいまち」をめざして開催。遊びながら子育てに関する知識が得られます。



訪問給食：独り暮らしのお年寄りなどに温かい食事とまごころを届けます。



総合病院光市立病院：地域の中核病院として、最新医療設備をそなえ、市民の健康を支えます。

[文化]

時代が動いても残していきたいもの

人にルーツがあるように、まちにも長い歴史があり、その中から生まれた独特の文化を引き継いで、魅力あるまちの顔を形作っていきます。山の神、海の神、自然や災いや疫病を、恐れ敬い祈る心から生まれ育てられた数々の祭りが今に残っています。

どんなに時代が動いても残していきたいものがある。そんな熱い思いが伝わり、また次代へと受け継がれていくのです。

Just as a person has their roots, a town has a long history. The attractive visage of the town has evolved from the unique culture drawn by its history.

Various festivals which originated from respect for the mountain and the sea gods and fear of natural disasters and plagues still exist.

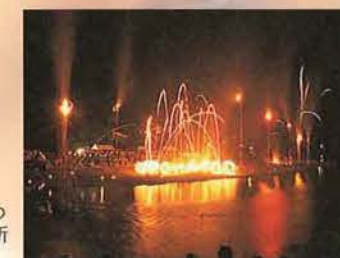
We want something to preserve throughout the coming years as a cultural treasure to hand down to the people of the coming centuries.



島田人形浄瑠璃芝居：室町時代から伝わるもので、県の無形民俗文化財に指定されています。



牛島えびすまつり：大漁旗をなびかせながら湾内をパレードし、海上の安全と豊漁を祈願します。



周防柱松：棒の先の端にたいまつを投げ込み、無病息災や豊作を祈る伝統の火祭り。

梅まつり：20数種約2000本の梅が咲き誇り、多くの観光客でにぎわいます。



早長八幡宮秋まつり：市民文化財に指定された山車と踊山を町内の若者が曳き回します。



普賢まつり：海の守護仏・普賢さまのまつりは、多くの参拝客でにぎわいます。

街

が輝く

TOWN

【都市基盤・産業・歴史を伝える町並み】

人がいて街がある

自然と共生した快適な都市基盤

新世紀に向けて活力ある産業の育成、大切に継承される伝統ある街並み

スポーツ、文化、芸術、産業、様々な活動を通して、このまちを支え、守り、育てていく人がいる。

生き生きと暮らす人がいる。そんな人々の生活を、街はしっかりと受け止めている。

光市は“光輝まち”の創造をめざします。

PRISMATIC CITY 街 HIKARI

【都市基盤】

時代が求めるまちづくり

快適で便利で、それでいてやさしさと潤いに満ちた生活。市民のそんな願いに応じて光市では、豊かな自然環境の中に、時代が求める都市機能を上手にバックした、そんなまちづくりを進めています。明日の豊かな市民生活を支える道路、河川、上下水道、住宅、公園、港湾などの整備と美しい自然が調和した快適環境都市。21世紀に引き継いでいく確かな都市基盤の整備に努めています。

Citizens wish to have a life which is comfortable and easily accessible, but full of humanity. Hikari City plans to proceed with the realization of a city with a rich beautiful natural environment and packed with the urban conveniences which citizens require. We will make an effort to improve the basic living facilities for the 21st century.



虹ヶ丘・森ヶ峠線：平成元年から整備を進めてきた国道を補完する幹線道路が、平成9年11月に完成。21世紀に向けて、光井・島田地区の更なる発展が期待されています。



なぎさへの道：快適環境都市の実現に向けて自然景観を生かし整備されたこの道は、平成2年度に自治大臣表彰を受けました。



山口県スポーツ交流村：光市の美しい海と温暖な気候を利用した、滞在可能な海洋スポーツ施設。



冠山総合公園：冠梅園の梅を中心に四季の花木が楽しめる公園として、現在整備を進めています。また、公園一帯をスポーツ・レジャーの拠点として整備に努めます。



総合体育館：併設するスポーツ公園とともに、市民が気軽にスポーツやレクリエーションを楽しめ、健康増進を図ることができる拠点施設。



多目的広場：広場一面に芝生が広がるこの公園では、子どもたちが自由に安心して思う存分遊ぶことができます。



下水道浄化センター：美しい海や川の良好な水質を守ります。



21世紀を支えるまちの活力

21世紀に安定した市民生活を約束する産業の育成は、雇用の場づくりとして、まちの発展に欠かせないものです。鉄鋼・化学の二大基幹産業を中心に発展してきた光市は、地場産業の振興を図るとともに、工業団地の造成による企業誘致や情報産業の拠点づくりとしてのソフトパーク整備事業等に積極的に取り組み、新たな雇用の創出に努めています。

また、次代に対応する農林水産業の生産基盤強化、あるいは、消費者にとって魅力ある商店街づくりなど、創造性に満ちた活力ある産業のまちづくりを進めています。

Development of industry offers the opportunity of employment and is essential for the city's growth in the 21st century. Hikari City has evolved with the development of the steel and chemical industries.

Now we will make an effort to provide new employment by promotion of local industries, developing the business sites to attract new industries, and through "Hikari Soft Park" business park project to attract software and related industries.

We will also toughen the production base of agriculture and fishery, and make commerce more attractive. Thus we strive for an industrial town full of creativity and vitality.



新日本製鐵(株)光製鐵所:21世紀に花開く金属であるステンレス鋼やチタンなどを製造。時代を担うバイオニア製鉄所として発展を続けています。



武田薬品工業(株)光工場:私たちの健康そして豊かな生活に欠くことのできない医療品や食品などを中心に製造。特にビタミンCの生産量は世界第二位を誇っています。



ニッテツ電子(株)光工場:半導体用シリコンウェーハを製造。常に時代をリードする最先端技術を開拓しています。



カンロ(株)光工場:人の心に愛を語りかけるような製品づくりを心がけています。



栽培漁業センター:いつまでも豊かな海であるために、つくり育てる漁業の拠点施設として整備しました。



千田郷ほ場整備:農業基盤の整備が進められています。また、メロンやイチゴなど施設園芸も盛んです。



ひかりソフトパーク:21世紀のリーディング産業といわれる情報産業の集積拠点として整備しました。



ジャスコ光店:県内初のパートビル法適用施設により、環境や人にやさしい事業をめざしています。

遠い昨日が蘇る

古くは山陽海路の要津として栄えた御手洗湾、室積港。その往時を今に偲ばせてくれるのが普賢寺から早長八幡宮へと続く海商通り。旧豪商宅を整備した光ふるさと郷土館や昔ながらのたたずまいを残した家が並んでいます。

毎年秋には300年の歴史を伝える山車が曳き回されるこの通り、どこからか「木やり唄」とともに、威勢のいい若い衆の掛け声が聞こえてくるような、そんな気がします。

Murozumi formerly prospered as an important port town in the San-yo sea route.

The atmosphere of the old days can still be sensed by strolling down the "Kaisyo-dori" between the Fugen temple and Hayaosa Hachiman Shrine. There is "Hikari Furusato Kyodokan", (the home town historical museum), housed in what was a very rich merchants home and several shops which reflect the housing design of the past are also on this street.

"Dashi"(floats) which have a history of three hundred years are pulled at the autumn festival in this street. If you come, you can hear the traditional song "Kiyari-uta" featuring special calls by the younger people.



光ふるさと郷土館:江戸時代に室積に寄港していた北前船に関する資料や醤油醸造道具などを展示し、当時の人々の生活や文化を紹介しています。



普賢寺山門:海商通り南端に位置する普賢寺周辺には、歴史を伝える多くの遺産が残されています。



ボランティア観光ガイド:より多くの人に室積の歴史を知ってもらいたいとの思いから「海商室積の歴史探訪会」によって始められました。



海商通り:伝統的様式を留める家屋も次第に減りつつありましたが、町並み保存事業などにより、最近では古い町並みの再生が進んでいます。

自然

が輝く



N A T U R E

[至宝・環境保全・市民参加]

守り続けてきた誇り

このまちを築いた先人は、早くから自然との共生を願い、時代に流されることなく、
普遍の価値を見つめてきた。豊かな川の流れ、緑の山々、どこまでも続く白い砂浜、青い松林。

かけがえのないものを守り続けてきたことを今、私たちは誇りたい。

光市は“自然が輝くまち”の創造をめざします。

PRISMATIC CITY 自然 HIKARI

[至宝]

素晴らしい自然をありがとう

雲のすき間から虹を伝って落ちた滴は、豊かな山の緑に吸い込まれ、やがて大なる川となって海へと続いていきます。幾千年の時をかけ、流れは白砂を運び、美しい浜辺となりました。松を育て続けた先人の営みは、やがて大樹となって見事な松林を残しました。

こんな素晴らしい自然を享受できた喜びを、私たちは確実に次代へと引き継いでいきたいのです。

Waterdrops coming down from the clouds along the rainbow are sucked in by the woods of the mountains and form a big river to the sea. The flow of the river has carried grains of white sand over thousands of years and this has resulted in beautiful beaches. Pine trees planted by the early residents have resulted in large pine trees forming a splendid pine wood. Such wonderful natural heritage must certainly be handed down to the next generation.



あじさい苑:梅雨時期には1万5000株のあじさいがしっかりと咲き誇ります。



島田川・水鳥:冬になると、島田川河口は一面、冬鳥の楽園となります。



室積・虹ヶ浜海岸:「日本の渚・百選」や「日本の白砂青松100選」に選ばれた美しい海岸です。両海岸合わせて約8kmにもおよぶ松林は「日本の名松100選」、「森林浴の森100選」にも選ばれています。



牛島のモクゲンジ:牛島は日本で初めてモクゲンジの自生地として確認された地。7月には山々が黄色に染まります。



象鼻ヶ岬:その姿が象の鼻に似ていることから名付けられたという象鼻ヶ岬は、島田川の砂が長い年月をかけて流れ積もってきた砂嘴、別名「周防橋立」とも呼ばれています。



蝦蟇山樹林:瀬戸内海国立公園内に位置し、国の天然記念物に指定される樹林は、暖帯性の特徴を有し、今なお原生林に近い姿を留めています。

【環境保全】

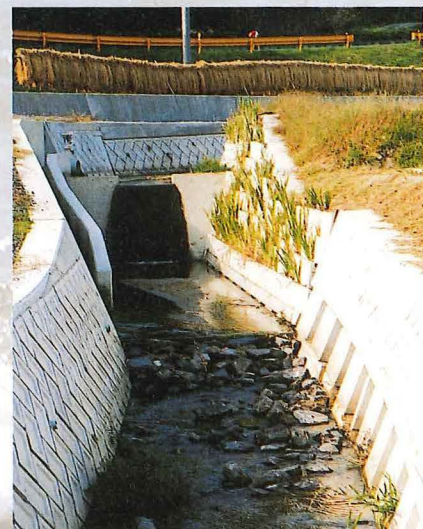
未来のために今、何をすべきか

光の至宝。それは先人から受け継いできた比類なき自然です。
地球規模で環境問題が深刻化している今日、私達光市民は、
この美しい自然環境を21世紀に引き継ぐために、今、何をす
べきかを知っています。

Hikari City's treasure is the unrivaled beauty of nature that we
have inherited from our ancestors.
Now environmental problems have become more serious on a
global scale.
However, the citizens of our city now know what to do to
successfully hand down our natural heritage to the people of the
21st century.



海岸松の植栽：海岸適応型マツ、松くい虫抵抗性マツを植えるなど、海岸松林の保護・造成に
努めています。



環境保全型護岸：蛸が住める土手とカワニナや魚が住
めるプール、魚が遡上できる魚道を備えています。



エココスト事業：虹ヶ浜海岸の美しい景観を保ち
ながら、高潮による浸水被害や波浪による浸食被害な
どを防ぎます。



下水道工事：光市の美しい海や川環境を守るため、現在、
急ピッチで下水道の供用区域の拡大に努めています。



環境巡視員：市からの委嘱を受け、室積・虹ヶ浜海岸を中心にパトロール。ごみの不
法投棄などの防止の一助になっています。

【市民参加】

愛する心がエネルギー

どこまでも続く青い海、虹の松原、白い砂、そして風薫るまち
“光”。その美しさを一層輝かせているのは市民の手による保
全への取り組みです。

いつまでも美しい光であってほしい。一人ひとりのそんな願
いが行動となって、活発な環境保全活動が続けられています。
このまちを愛する人々の心がエネルギーとなって、まちに新た
な生命を吹き込んでいます。

Boundless spreading clear sea, green ranges of pine woods and
beaches of white sand.
It is the citizens of Hikari City who make the effort to preserve
such natural beauty and give a unique character to the town.
We wish Hikari City to be beautiful forever! This wish for Hikari
adopted by us all, one by one, results in the necessary actions to
preserve the natural environment. The minds of those who love
Hikari City generate energy to breathe new life into the city.



クリーン光大作戦：多くの市民の参加により、市内一円が見違えるほどきれいになります。



コスモス作戦：コスモス（花言葉・まごころ）を植え、全国を
親切なところの輪でつなぎます。



リサイクル：市民グループによる廃油からの
固形石けんづくり。



環境にやさしい協力店：ごみ減量やリサ
イクルに取り組む市内の事業所に標示さ
れています。



花壇コンクール：市民の皆さんの手で作られた花壇はいず
れも秀れぬ美しさ。私たちの生活に潤いとやすらぎを与えて
くれます。

MUNICIPAL GOVERNMENT & CITY ASSEMBLY

[市政・議会]

みんなで作る明日の光



議会：光市議会は、市民の代表として選ばれた22名の議員で構成され、年4回の定例会と必要に応じて開催される臨時会で市政運営の方針や予算・条例等について慎重な審議・決定を行なっています。



市五役：(右から)末岡泰義市長 重岡靖彦助役 田中治之収入役 吉田師郎教育長 松岡一孝水道局長

光市では「市民参加による心の通ったまちづくり」を基本理念に、まちづくり市民集会、市民ふれあいトークの開催や広報・広聴活動などを通して、市政への市民参加を積極的に推進しています。

また、多様な行政需要に対応するため、効率的な行政運営の推進を図りながら、市民福祉の向上に努めています。



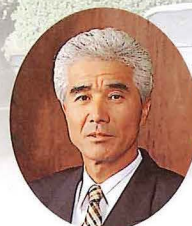
ふれあいトーク：団体やグループを対象に、市長が直接出向いて語り合います。



市民集会：各地区が抱えているまちづくりの課題などをテーマに市内8会場で開催されます。



国広忠司議長



中本和行副議長

Hikari City's basic management concept is the realization of a warmhearted town through the citizens' participation in the municipal administration.

We will promote the participation of citizens through meetings and talks with citizens and public relations.

To fulfil the citizens' various needs for the municipal administration, we will also make efforts to advance the social welfare services and to manage the administration efficiently.

OUTLINE OF HIKARI

[光市のすがた]

沿革

昭和18年4月1日、光海軍工廠を中心とする軍都として市制を施行しました。戦後は、武田薬品工業(株)光工場、八幡製鐵(株)(現・新日本製鐵(株))光製鐵所の二大企業を中心として周南工業整備特別地域の一翼を担う近代的産業都市として発展を続けています。

地勢

面積 59.85km²

光市は、山口県の東南部、周南工業地帯の東部に位置し、瀬戸内海国立公園を一部に含む、自然景観の優れた人口約4万8千人の都市です。市域北西部を島田川が貫流して周防灘に注ぎ、中心地域は河口デルタを形成して、その両端に西日本屈指の海水浴場として知られる室積・虹ヶ浜の両海水浴場の白砂青松の海岸が広がっています。気候は瀬戸内式気候であり、降水量も少なく温暖な地域です。このような臨海都市としての自然的地理的条件は、市民の良好な居住環境となり、さらには、産業活動を進めていくうえでも優れた条件となっています。

位置

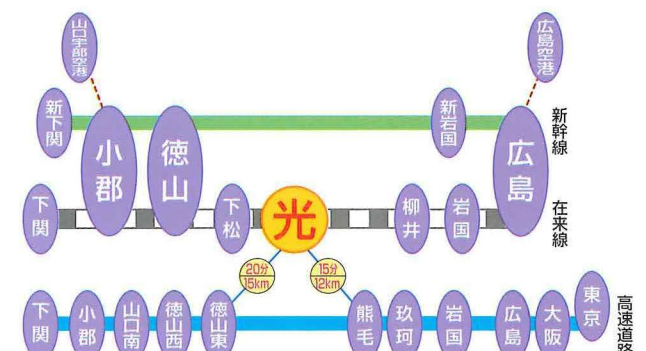
市役所の所在地 光市中央六丁目1番1号 東経131度56分41秒北緯33度57分31秒



位置図



交通アクセス





市のシンボル



市の木 クロマツ



市の花 ツツジ

1998 光市 市勢要覧

発行日／平成10年4月1日

改訂／平成12年11月1日

発行／光市役所

〒743-8501 山口県光市中央六丁目1番1号

TEL0833(72)1400 FAX0833(71)1786

URL <http://www.urban.ne.jp/home/hikaricy/>

編集／光市企画調整部企画課

印刷／大村印刷株式会社